

NEXT 50 ~創立 50 周年に向けて~

2022 年をもって、愛知医科大学は創立から 50 周年を迎えます。

本学は、「建学の精神」に謳われている良き医療人を育てて地域に役立つという目的を踏まえ、将来ビジョンとして『社会から評価され選ばれる医科大学』を掲げています。この将来ビジョンを学として定めた「具眼考究」の理念の下で具現化するため、重点項目を策定し、教職員・学生が一丸となって、これからも走り続けていきます。

【重点項目】

- ・グローバル化に向けた医学・看護学教育改革
- ・生涯学習能力や情報活用能力を養う ICT 教育環境整備の促進
- ・大学院改革に向けた MD/Ph.D コースの導入
- ・研究創出支援センターを中心とするバイオバンク事業の推進
- ・長久手市との連携事業推進による「未来の地域医療の画期的成功例」の提示
- ・大規模災害時の地域社会支援
- ・地域医療連携に基づくがん診療の充実
- ・多職種協働に基づいた地域包括ケアシステムの推進

- 1971.12.25 愛知医科大学（医学部医学科）設置許可
- 1972.4.11 医学部第 1 回入学式
- 1974.5.30 新附属病院使用許可
- 1974.9.9 高等看護学院設置認可（1976.9.20 看護専門学校に改称）



↑ 附属病院棟



↑ 高等看護学院棟

- 1981.4.23 情報処理センター設置
- 1983.4.1 加齢医学研究所設置
- 1983.4.20 メディカルクリニック開設許可
- 1983.12.21 附属動物実験施設設置（1988.4.1 動物実験センターに改称）



↑ メディカルクリニック

1970

1975

1980

1985

1990

1995

2000

2005

2010

2015

2020

2022

- 1979.7.1 附属病院救命救急センター開設
- 1980.3.26 大学院医学研究科設置認可
- 1980.6.4 大学院医学研究科第 1 回入学式

- 1993.6.16 産業保健科学センター設置
- 1994.2.1 附属病院が特定機能病院に承認



↑ 大学本館（1999 年 9 月竣工）

- 1987.10.1 運動療育センター設置
- 1988.4.1 核医学センター設置、研究機器センター設置、分子医学研究所設置、附属図書館を医学情報センター（図書館）に改称



↑ 運動療育センター



↑ 救命救急センター



↑ 教養棟



↑ 専門棟

- 2000.4.5 看護学部第 1 回入学式
- 2001.6.16 薬毒物分析センター設置
- 2002.1.1 学際的痛みセンター設置
- 2002.4.26 看護専門学校廃止認可
- 2003.11.27 大学院看護学研究科設置認可
- 2004.4.1 医学教育センター設置
- 2004.4.7 大学院看護学研究科第 1 回入学式



↑ ドクターヘリ（2002 年 1 月運航開始）

- 2010.4.1 総合医学研究機構を改組（動物実験センター、核医学センター、研究機器センター、臨床試験センターを同機構の部門として統合）
- 2012.1.4 長久手市市制施行に伴う所在地名地番の変更（愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1）
- 2012.3.31 先端医学・医療研究拠点廃止
- 2012.4.1 先端医学研究センター設置
- 2014.4.23 新病院（中央棟）使用許可
- 2014.11.1 災害医療研究センター設置



↑ 新病院（中央棟）

- 2015.4.1 国際交流センター設置、シミュレーションセンター設置
- 2016.4.1 先端医学研究センター廃止、研究創出支援センター設置
- 2017.4.1 総合学術情報センター設置（医学情報センター（図書館）廃止、情報処理センター廃止）

- 2005.4.1 病院名を愛知医科大学病院に改称
- 2008.4.1 総合医学研究機構設置、臨床試験センター設置、先端医学・医療研究拠点設置、看護実践研究センター設置



↑ 看護学部棟

建学の精神

本学は、新時代の医学知識、技術を身につけた教養豊かな臨床医、特に時代の要請に応じて地域社会に奉仕できる医師を養成し、あわせて医療をよりよく発展向上させるための医学指導者を養成することを目的とする。

そのため、医学を中心とした広汎な基礎的知識を授け、深い専門的技術を教授研究し、心身ともに健康なる医師を養育し、その知的、道徳的能力及び社会的有用性の向上を期している。

なお、私学の特性に鑑み、その自主性を重んじ、公共性を高めることによって、私立医科大学の健全なる発展を図り、社会福祉、殊に地域医療に貢献するとともに、東南アジアその他発展途上国の医療の進歩、向上に協力せんとする。

本学の修業年限は 6 年で、その間の教育に一貫性を期するとともに、研究の交流を図るために、その組織を基礎科学、基礎医学、臨床医学の各部門にわかし、それぞれの緊密なる連携を図ることとした。この点本学が新しい構想のもとに企画したところであり、本学の特色とするところである。かくして新しい「カリキュラム」をもって人間形成及び創造性の啓発を図り、人命の尊厳を守り、ヒューマニズムに徹し、各自の自主的、自発的勉学を尊重し、人間としての自覚にたった医学教育を目指しているのである。